



# 「Pパレ共同使用」展開事例について

2022年10月28日

一般社団法人Pパレ共同使用会

1. 正式名称: 一般社団法人Pパレ共同使用会

2. 所在地: 東京都中央区銀座1丁目16番7号  
TEL:03(3561)8340

3. 代表理事: 岸野 博行

4. 目的及び事業・概要(新法人定款より)

(1)目的 Pパレを適切に管理しつつその共同利用を促進することで物流の効率化に寄与する。(ビール用の木製パレットも対象)

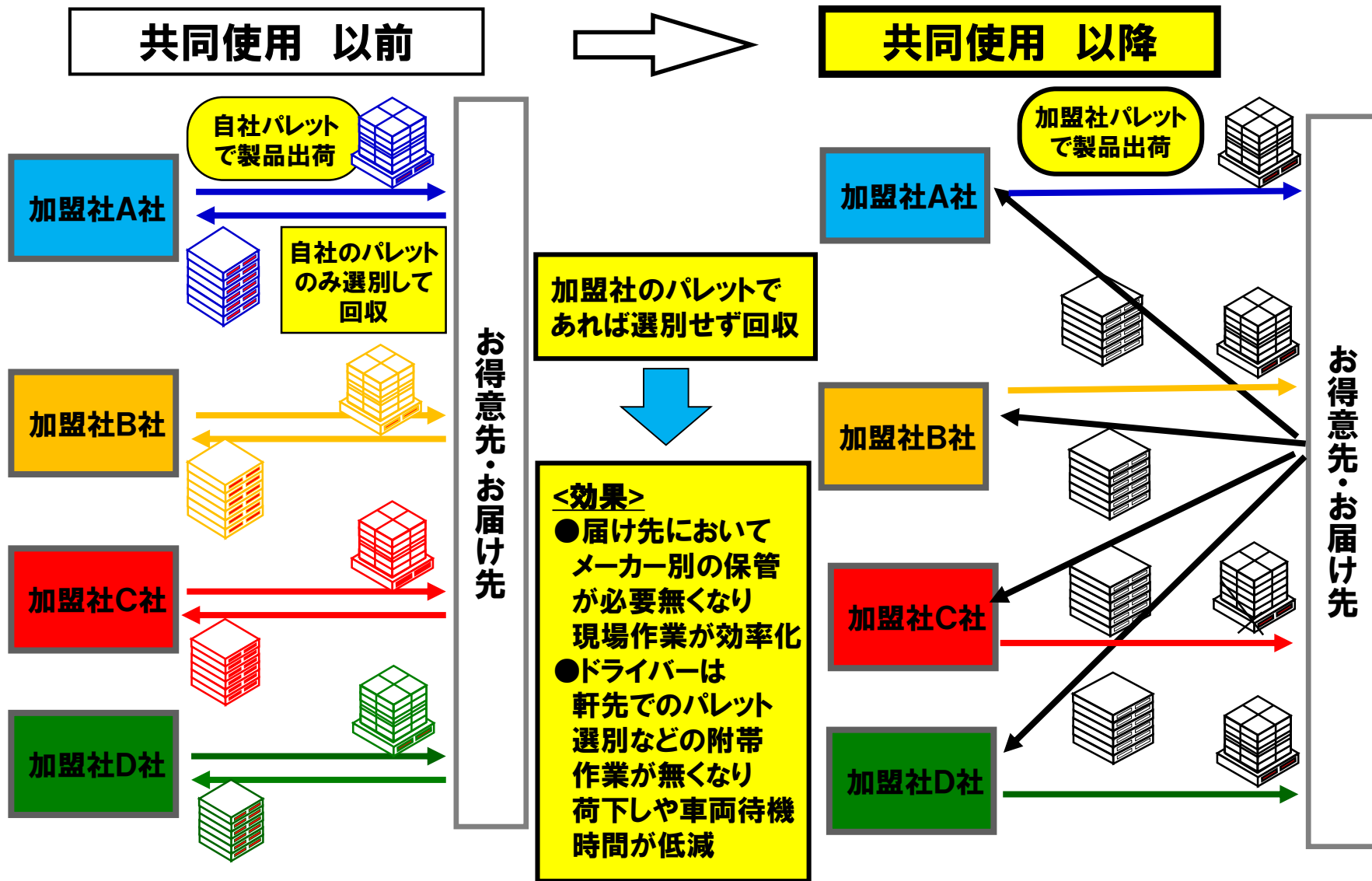
(2)事業

- ①会員からのPパレの維持管理業務の受託
- ②Pパレの共同利用に関する準則の策定及び整備
- ③会員によるPパレ投入実績の把握及び投入枚数の決定
- ④Pパレの利用状況の把握
- ⑤Pパレの不正利用者からの回収
- ⑥Pパレの適正な利用を図るための啓発活動
- ⑦物流合理化のための情報の収集及び研修会の実施

(3)事業年度 1月1日～12月31日

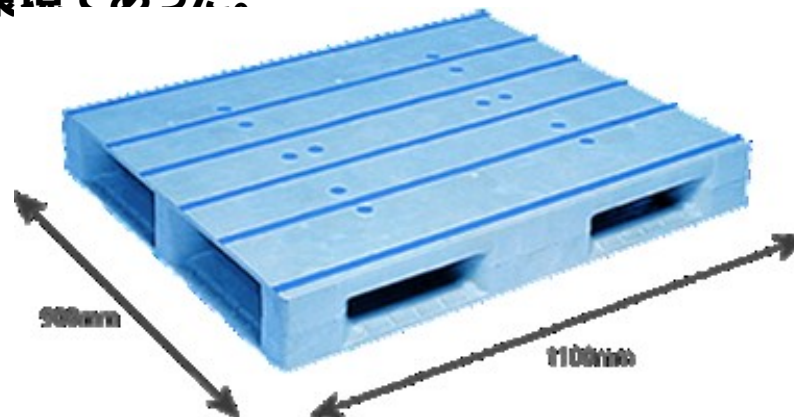
## II Pパレ共同使用の仕組み

パレットを共同使用・無選別回収することで、パレットの効率的な活用に加え、  
お客様先でのパレットの選別保管・管理の労力の低減が図れる。



### III 共同使用するパレット

1. Pパレ共同使用は、「加盟する各社の自社資産としてビール用プラスチックパレット」  
(以下、Pパレ)を作成・購入の上、共同使用」するスキームである。
2. Pパレは、「9型 (900mm×1100mm)」のサイズで、主に酒類・飲料の輸送、保管で使用されている。
  - 酒類・飲料業界は、取扱い製品の「配送量が多い(特にビール会社)」かつ「高重量(中身製品が液体)」という製品特性上、手荷役による荷役では流通各工程での身体的負担が大きい事から、フォークリフトを使用したパレットによる荷役が必要とされやすい背景があった。
  - 上記の背景から、メーカーからの配送時だけではなく、運送会社や得意先においても、作業者の身体的負担やメーカー別パレットの仕分け保管・回収の作業負担軽減・効率化を図るという共通の目的があり、一貫パレチゼーションが進みやすい環境であった。



3. 円滑な共同使用の運用を実施する為、Pパレ製造・購入時に**共通の「規格及び仕様」を規定し、その基準に基づき、加盟各社が投入を実施している。**
- ① 寸法や外観、耐荷重などの強度がバラつかず同等品質となる様にする為、パレット規格の基本的事項(材質、形状、縦横高さのサイズなどの完成品の最低限の品質確認事項)を制定。
  - ② また、破損選別等の「運用ルール」についてもバラつきが生じない様、専任の事務局をおき、運用の標準化・見直しを図っている。

### (1) 製品

#### ①大量重量物である。

「配送量が多く」且つ「高重量」という製品特性上、フォークリフトを使用したパレット荷役が必要とされる。

#### ②容積や製品形状に共通性がある。

パレット荷役を前提としている為、外装段ボールサイズや商品サイズもPパレ積載時のユニットロードも考慮しつつ設定されている。

また、酒税が関連する関係上、瓶・缶・樽・PETといった製品の容量や製品形状に共通性がある。

### (2) 環境

#### ①酒類・飲料を取扱いしている取引先は特定されており、ある程度クローズな業界である。

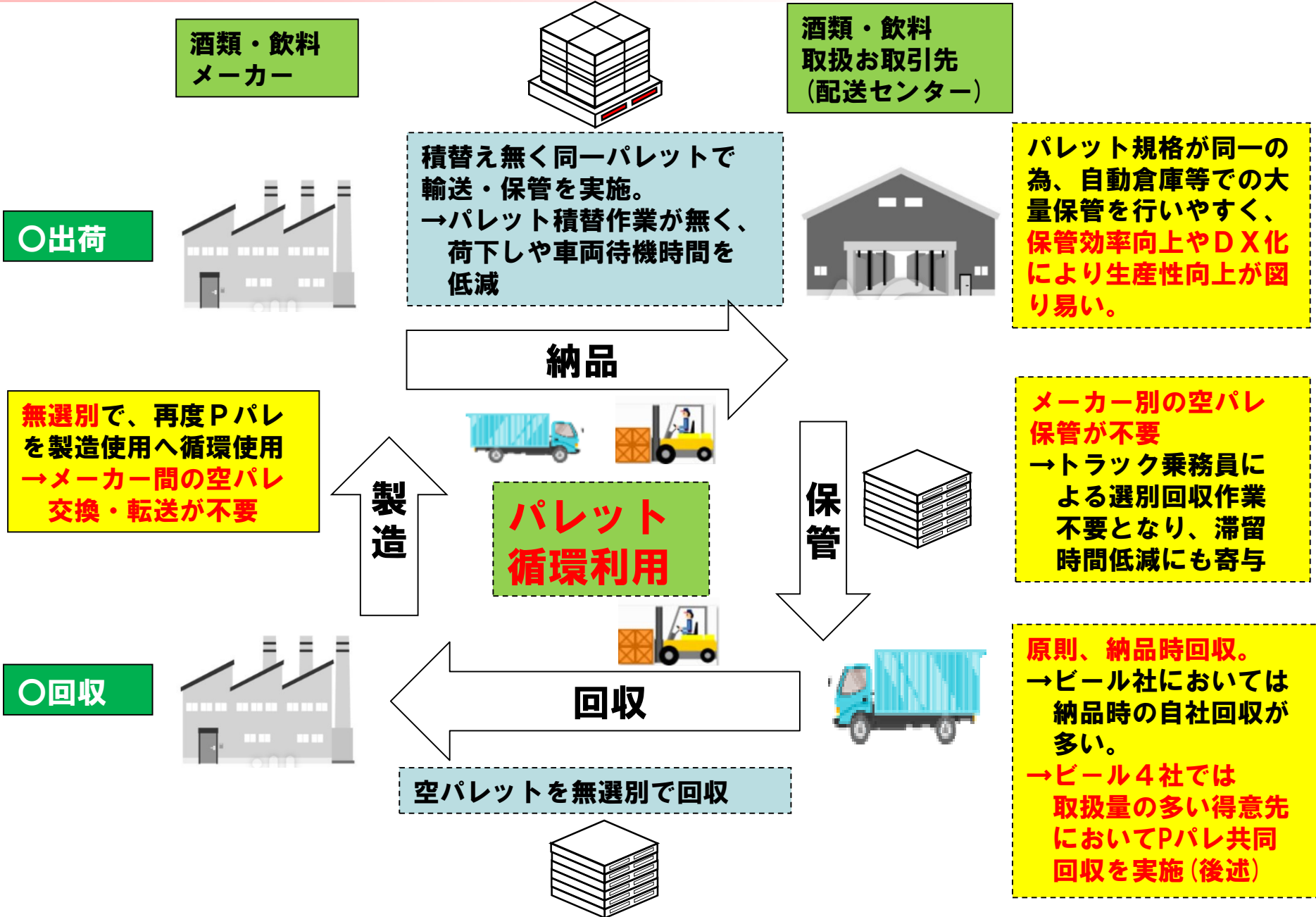
(※Pパレは国内流通限定とし、海外への輸出は不可としている)

# <参考> Pパレ共同使用会加盟社一覧

## ビール・日本酒・焼酎・飲料メーカーを中心として「123社」が加盟(2022年9月現在)

No.	分類	会社名	No.	分類	会社名	No.	分類	会社名	No.	分類	会社名
1	正会員	アサヒビール株式会社	33	正会員	秋田県醸酵工業株式会社	65	正会員	チョーヤ梅酒株式会社	96	準会員	株式会社コダマ飲料
2	正会員	キリンビール株式会社	34	正会員	盛田株式会社	66	正会員	北関酒造株式会社	97	準会員	ディアジオジャパン株式会社
3	正会員	サッポロビール株式会社	35	正会員	清洲桜醸造株式会社	67	正会員	老松酒造株式会社	98	準会員	出水酒造株式会社
4	正会員	サントリー-MONOUZUKURIエキスパート株式会社	36	正会員	長龍酒造株式会社	68	正会員	株式会社東亜酒造	99	準会員	剣菱酒造株式会社
5	正会員	宝酒造株式会社	37	正会員	萱島酒造有限会社	69	正会員	株式会社ソーケンビバレッジ	100	準会員	CT Spirits Japan株式会社
6	正会員	月桂冠株式会社	38	正会員	ホッピービバレッジ株式会社	70	正会員	南アルプスワインアンドビバレッジ株式会社	101	準会員	株式会社大極舎
7	正会員	大関株式会社	39	正会員	福德長酒類株式会社	71	正会員	旭産業株式会社	102	準会員	サントネージュワイン株式会社
8	正会員	三和酒類株式会社	40	正会員	黄桜株式会社	72	正会員	八重寿銘醸株式会社	103	準会員	株式会社 篠崎
9	正会員	霧島酒造株式会社	41	正会員	ヤエガキ酒造株式会社	73	正会員	株式会社山本家	104	準会員	株式会社 サンフーズ
10	正会員	小西酒造株式会社	42	正会員	土佐鶴酒造株式会社	74	正会員	株式会社日田天領水	105	準会員	花の香酒造株式会社
11	正会員	日本盛株式会社	43	正会員	八鹿酒造株式会社	75	正会員	株式会社北川本家	106	特別会員	アサヒ飲料株式会社
12	正会員	菊正宗酒造株式会社	44	正会員	小正醸造株式会社	76	正会員	小鹿酒造株式会社	107	特別会員	エノテカ株式会社
13	正会員	高橋酒造株式会社	45	正会員	田苑酒造株式会社	77	正会員	ダイドードリンコ株式会社	108	特別会員	カルビス株式会社
14	正会員	銀盤酒造株式会社	46	正会員	山元酒造株式会社	78	正会員	ベルノリカル・ジャパン株式会社	109	特別会員	キリンビバレッジ株式会社
15	正会員	眞露株式会社	47	正会員	白金酒造株式会社	79	正会員	株式会社一ノ蔵	110	特別会員	サントリーフーズ株式会社
16	正会員	大口酒造株式会社	48	正会員	雲海酒造株式会社	80	正会員	株式会社宮崎本店	111	特別会員	サントリー株式会社
17	正会員	齊藤酒造株式会社	49	正会員	株式会社美少年	81	正会員	能勢酒造株式会社	112	特別会員	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
18	正会員	賀茂鶴酒造株式会社	50	正会員	株式会社 金龍	82	正会員	株式会社佐浦	113	特別会員	メルシャン株式会社
19	正会員	中荏酒造株式会社	51	正会員	三菱商事ライフサイエンス株式会社	83	正会員	Anheuser-Busch InBev Japan株式会社	114	特別会員	株式会社ヤッホーブルーイング
20	正会員	富永貿易株式会社	52	正会員	オエノンプロダクトサポート株式会社	84	正会員	鷹正宗株式会社	115	特別会員	萬世酒造株式会社
21	正会員	辰馬本家酒造株式会社	53	正会員	美峰酒類株式会社	85	正会員	井上酒造株式会社	116	特別会員	三和酒造株式会社
22	正会員	高千穂酒造株式会社	54	正会員	三岳酒造株式会社	86	正会員	株式会社小山本家酒造	117	特別会員	サントリービバレッジソリューション株式会社
23	正会員	長島研醸有限会社	55	正会員	二階堂酒造有限会社	87	正会員	株式会社ディーエイチシー(ビール事業)	118	特別会員	梅錦山川株式会社
24	正会員	若潮酒造株式会社	56	正会員	司牡丹酒造株式会社	88	正会員	石本酒造株式会社	119	特別会員	桃川株式会社
25	正会員	指宿酒造株式会社	57	正会員	大海酒造株式会社				120	特別会員	株式会社京姫酒造
26	正会員	白鶴酒造株式会社	58	正会員	株式会社サクラオフルフリーアンドディスティラリー	89	準会員	株式会社奄美大島開運酒造	121	特別会員	雪椿酒造株式会社
27	正会員	札幌酒精工業株式会社	59	正会員	喜久水酒造株式会社	90	準会員	西酒造株式会社	122	特別会員	越後桜酒造株式会社
28	正会員	株式会社一本義久保本店	60	正会員	本坊酒造株式会社	91	準会員	国稀酒造株式会社	123	特別会員	株式会社北鹿
29	正会員	神楽酒造株式会社	61	正会員	薩摩酒造株式会社	92	準会員	寿屋清涼食品株式会社			
30	正会員	合同酒精株式会社	62	正会員	さつま無双株式会社	93	準会員	翁酒造株式会社			
31	正会員	沢の鶴株式会社	63	正会員	瑞鷹株式会社	94	準会員	勝沼醸造株式会社			
32	正会員	秋田酒類製造株式会社	64	正会員	株式会社三宅本店	95	準会員	オリオンビール株式会社			

ビール4社において、1990年代初頭にPパレの共同使用・無選別回収を開始の後、順次、その他の酒類メーカーにも共同使用が拡大し現在に至る。  
→加盟社合計で「年間4500万枚前後」のPパレ出荷・回収を実施。

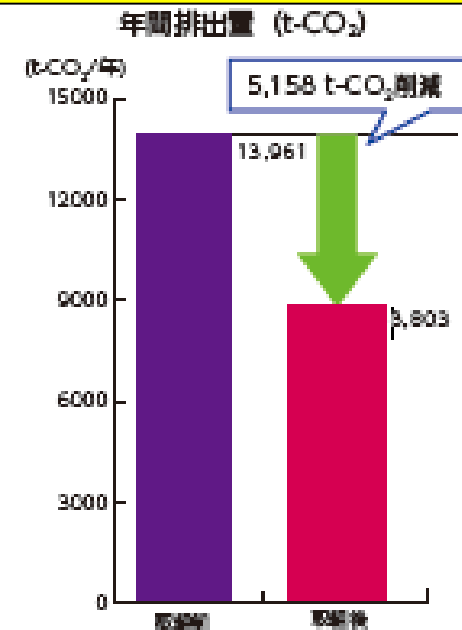
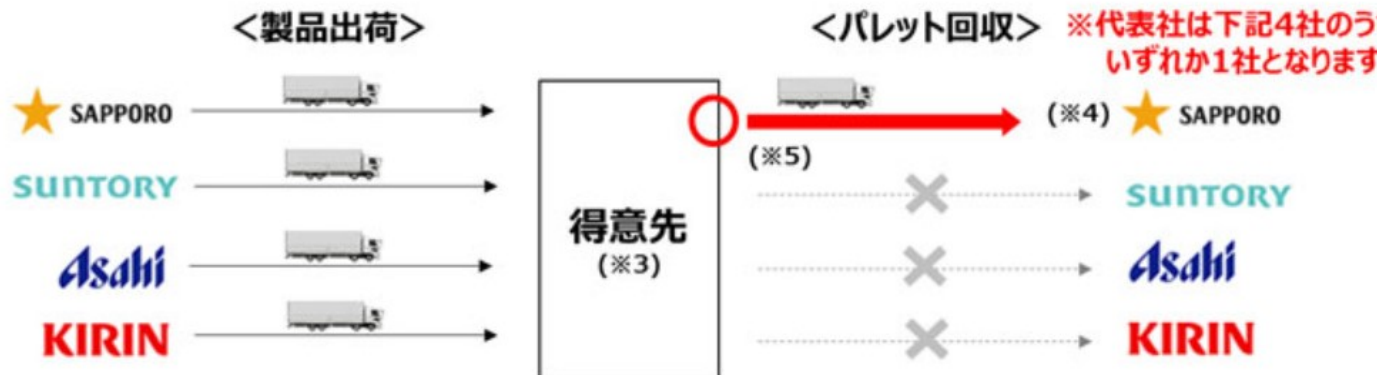




## <参考> ビール4社によるPパレ共同回収 取組

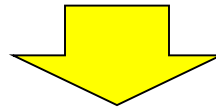
ビール4社では、2018年以降、共同でパレット回収を行い CO2 排出量の削減を推進している。

- ①年間でPパレ共同使用会加盟社合計の回収枚数が1万枚以上の得意先を対象としてPパレ回収をビール4社で分担(回収代表社を選定)し、得意先ごとに回収代表社がビール4社分のPパレを回収する。
- ②回収車両の積載効率の向上、回収距離の短縮によりCO2削減が促進され、本取組により、ビール4社合計で、年間のCO2排出量が約5,158t(従来比で約37%)削減できると見積もられる。また、得意先からは、Pパレ返却先が4社から1社に集約され、業務負担が軽減されたと評価をいただいている。



### ●導入・運用コストについて

- (1) Pパレは加盟社が資産として購入する為、「初期投資」が必要。
  - 購入費用負担の軽減・分散を図る為、入会后「3年以内」の準会員期間中にPパレ購入し投入すれば良いルールを制定。
  - 3年間の間は既存加盟社からの貸出し扱いとなる為、パレット協力金(≒貸出料金)を支払っていただく。
- (2) Pパレ投入が完了し、正会員に入会後の維持・管理費は「年会費のみ」
- (3) 加盟社の出荷枚数が増加した場合は、該当加盟社が「Pパレ追加投入」を実施。



### ○メリット

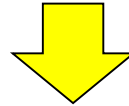
長期的・安定的にパレットを利用する場合、維持・管理費のランニングコストが安く済む。

### ○デメリット

短期的な取扱いや出荷動向の変動が大きい場合、投入したパレットが余ったり足りなくなったりする可能性がある。

### ●パレットの流出について

酒類・飲料の流通ルート外へのPパレ流出が後を絶たず、年間の未回収枚数が毎年20万枚～30万枚発生している。



●対応策は下記のとおり。

- ①2014年にPパレ共同使用会を一般社団法人として設立し、「社会的認知度向上」「不正使用者への法的対応強化」を図っている。
- ②物流機関紙等に啓発広告を出稿したり、不正使用に関する情報があつた都度にアプローチを実施している。

※ただし、個別対策には限界がある為、官民双方での情報発信について相談させていただきたい。

# <参考> 酒類・飲料流通ルート外からの回収実績（業界別内訳）

業界	2021年1月～12月				前年(2020年1月～12月)				前々年(2019年1月～12月)	
	枚数		回数		枚数		回数		枚数	回数
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比		
運輸倉庫	5,597	128.3%	80	98.8%	4,364	199.5%	81	152.8%	2,188	53
卸売業	3,129	77.7%	42	68.9%	4,028	519.7%	61	217.9%	775	28
産地	1,464	421.9%	32	118.5%	347	140.5%	27	90.0%	247	30
市場	13,006	116.1%	260	105.7%	11,201	105.1%	246	102.9%	10,659	239
小売業	4,603	202.9%	91	98.9%	2,269	66.5%	92	112.2%	3,414	82
製造業(食品)	2,079	131.1%	56	143.6%	1,586	220.3%	39	156.0%	720	25
製造業(食品以外)	1,308	100.5%	107	100.0%	1,302	91.3%	107	135.4%	1,426	79
その他	4,130	103.7%	69	79.3%	3,984	98.9%	87	116.0%	4,028	75
総計	35,316枚	121.4%	737回	99.6%	29,081枚	124.0%	740回	121.1%	23,457枚	611回

## <参考> 啓発広告 事例

**パレットの不正使用は違法です!**  
 お手元のパレット、こんな使い方してませんか?

花や植木の商品陳列台に  
 野菜の商品陳列台に  
 加盟社以外の商品の保管に  
 畑の土壌の代わりに

プラスチックパレット(PP)の不正使用は「一般社団法人Pパレ共同使用会」の加盟社にのみ認められ、加盟社以外での使用は違法となります。法的リスクを適切に回避いたします。

**お手元にあるPパレは、速やかに加盟各社にご返送ください。**

国内酒類・飲料メーカーなど99社が加盟!  
 一般社団法人 Pパレ共同使用会  
 〒112-8601 東京都港区南青山1-15-17 南青山ビル5F  
 TEL 0120-952-259

**ご清聴、ありがとうございました。**